

人口減少が進む今、



さいてきか

公共施設は**最適化**の必要性

に迫られています

公共施設のあり方について **アンケート実施中！**

アンケートの回答はこちらから→

回答期限：**2025**年**1**月**17**日(金)

回答時間
3分



■アンケート・チラシに関するお問い合わせ■

豊橋市 資産経営課 Tel:0532-51-2193
Email:shisankeiei@city.toyohashi.lg.jp

公共施設の「最適化」って？
裏面を要チェック📄

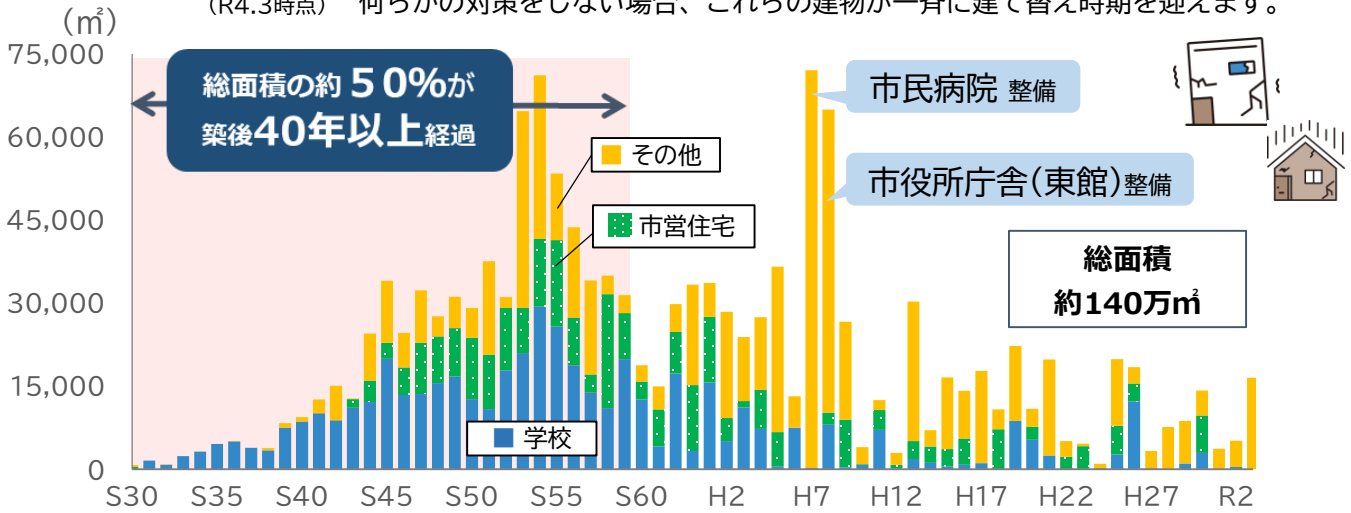
時代とともに増えてきた公共施設の数と量

建物系施設の 年度別整備状況

(R4.3時点)

本市の公共施設は、人口増加に伴い順次整備されてきたため、築後40年を超える古い建物が増えてきています。

鉄筋コンクリート造などの建物は法定耐用年数が47年から50年とされていますので、何らかの対策をしない場合、これらの建物が一斉に建て替え時期を迎えます。



主なインフラ系施設の 保有量

(R6.3時点)

道路や橋、公園といったインフラ系施設は施設ごとに耐用年数が異なりますが、高度経済成長期以降に集中的に整備され、建物系と同様に老朽化が進行しています。



しかし
これからの
時代...

今あるすべての公共施設を更新・維持管理すると
将来に大きな負担がかかります！

そこで今、
求められるのが

「最適化」です

最適化を進めることで、時代に応じた安全・安心で使いやすい公共施設を将来にわたり持続できるよう取り組んでいきます。

再配置 -複合化・集約化・用途変更-

みんなが使う機能を集めて利便性を向上させます。

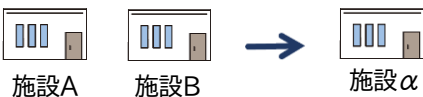
● 複合化

目的や機能が異なる施設を統合して複合施設に



● 集約化

目的や機能が同じ施設を統合して一体の施設に



● 用途変更

元の機能を別の機能に転用して新たな施設に



長寿命化

適切なメンテナンスで施設を長持ちさせます。

● 予防保全や改良保全を計画的に実施

● 将来の維持・更新費用を軽減



利活用

「建物・土地＝資産」と捉え賢く使います。

● 遊休空間や民間ノウハウの利活用

● 不要な土地の売却

